

事業名	<b>カブトムシ幼虫抽選会</b>
目的	・体験活動ができる場の充実
日時	2023年9月30日(土) 午後3時集合
参加条件と参加者数	参加条件：①自分で世話ができる虫好きの人（家族も含め） ②飼育方法を調べながら、大切に育ててくれる人 参加人数：8名（幼児2名、小学生2名、保護者4名）
内容	① 抽選会に至った経緯 ② カブトムシの一生 ③ これまで WAAAO で行った飼育方法とカブトムシのサイン ④ 譲渡（抽選会ではなく譲渡）
様子等	<p>どのくらいの参加があるのか不明だったため、当選数と譲渡できる幼虫の数は予め示さないまま当日を迎えた。10組以上の参加を見込んでいたが、当日は少なかつたため、抽選ではなく4匹ずつ4組に譲渡する形になった。小学生も保護者と一緒に参加し、カブトムシの一生について大型絵本や実物の幼虫のフンを見せながら、飼育方法やカブトムシのサインなどについて伝えていると、子どもも大人も身を乗り出して真剣に聞き入り、多数の質問も出て、生き物を大切に飼おうという温かい気持ちが伝わってきた。</p> <p>一通りの説明等が終わった後、1組を除く3組の親子は、近くのホームセンターに急ぎ、購入した飼育ケースと土をもって再び WAAAO に戻ってきた。順に幼虫をケースに入れて渡すと、子ども達は幼虫が入った飼育ケースを両手で抱え、とても大事そうに帰宅していった。</p> <p>後日、保護者が土替えの話を話題にしていたり、子どもの名前をもじってカブトムシに付けた名前を教えに来てくれたり、毎回「元気に動いているよ」と報告してくれる親子もいた。</p> <p>見た目がグロテスクな幼虫をあえて譲渡する目的は、命を家族で育てる経験と、幼虫が「さなぎ」になり「成虫」になって土の中から姿を見せ、またその成虫が次の世代の「卵」を残していくという、命のつながりを実体験してもらうことだ。そして、そのことを通して、人や他の生き物「命の尊さ」を感じる心が育まれること、家族間でのコミュニケーションがより豊かになっていくことを期待して実施した。</p> <p>冬眠前のラストチャンスとして、11月18日(土)に第二弾を実施する予定。</p>
	